

女性の輝きによる

魅力ある農業と農村地域づくり

農村活性化

Rural Revitalize

シンポジウム

2017.12.15 [fri]

入場無料
定員 150名

- ・農業を営む方
- ・農村地域づくりに取り組む方
- ・自治体・農業関係団体職員
- ・その他農村活性化に興味のある方

人口減少・高齢化が進展する中、農林水産業と観光を担う「生産空間」を維持・発展させていくことは北海道開発の中心的課題です。

「生産空間」の維持・発展のためには、地域を元気にする多様な人材を確保することが不可欠です。特に女性は、地域農業の振興や6次産業化の展開に重要な役割を担っており、女性農業者が輝き活躍することは「生産空間」としての農村地域の活性化につながるものと考えられます。

本シンポジウムは、農村地域の活性化における女性の役割の重要性について認識を深めていただき、女性が輝き活躍することにより魅力ある農村地域づくりの進展を目的に開催します。



開催日時・場所

平成 29 年 12 月 15 日 (金)

13:30 ~ 16:15 (開場 12:30)

札幌エルプラザ

札幌市男女共同参画センター 3F ホール
札幌市北区北 8 条西 3 丁目



※会場には駐車場がありません。
公共交通機関をご利用ください

★JR 札幌駅北口より徒歩 3 分
(札幌駅北口地下歩道 12 番出口横から建物の中まで直通)



プログラム

13:35
?

講演
1

“心を耕す農業”を目指して ~女性の思いを農業・農村に~

新開 玉子 氏 有限会社 ぶどう畑 代表取締役

14:25
?

講演
2

女性と農村コミュニティビジネス

林 美香子 氏 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント 研究科 特任教授
北海道大学大学院農学研究院 客員教授

15:05
?

パネルディスカッション

広げよう! 輝く女性がつくる魅力ある農村地域

コーディネーター: 小林 国之 氏 北海道大学大学院農学研究院 准教授

パネリスト: 伊藤 まち子 氏 北海道指導農業士協会監事 (苫前町: 伊藤牧場)

堀田 悠希 氏 株式会社 at LOCAL 代表取締役 (札幌町: 夢想農園)

橋本 陽子 氏 農林水産省北海道農政事務所生産経営産業部長

農村活性化
Rural Revitalize
シンポジウム
2017.12.15 (Fri)

プロフィール

Profile

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任教授
北海道大学大学院農学研究院客員教授



林 美香子 (はやしみかこ) 氏

札幌市生まれ。北海道大学農学部卒業後、札幌テレビ放送株式会社にアナウンサーとして入社。退社後はキャスターに。「農村と都市の共生による地域再生」の研究で北海道大学大学院にて博士(工学)を取得。現在、北洋銀行社外取締役、北海道田園委員会会長などを努める。著書に『農村へ出かけよう』寿郎社、『農業・農村で幸せになろうよ』安曇出版などがある。

北海道指導農業士協会監事



伊藤 まち子 (いとうまちこ) 氏

苫前町生まれ。負債農家だった嫁入り先の牧場を財務経理の経験を生かして立て直す。女性農業者は積極的に他地域と交流し、視野を広げ研鑽を積みレベルアップすることが地域活性化につながるとの思いで、2001年「留萌管内農村女性ネットワーク“オロロン”」を設立、地場製品の販売イベント等を開催。町議会議員としても活躍するなど、若手女性農業者のモデル的存在。

有限会社ぶどう畑 代表取締役



新開 玉子 (しんかいたまこ) 氏

福岡県筑後市生まれ。農家に嫁入りし農業に従事。これまでに農林水産省食料・農業・農村政策審議会委員などを務める。「消費者に農の心を伝えたい」との思いから、女性グループで野菜の出張販売や加工品づくりを始め、そこで培ったネットワークを活かし農産物直売所「ぶどう畑」を設立。九州各地から集まる農産物の直売や若手農業者の育成などを通じて、都市と農村の架け橋になる活動に取り組む。

北海道大学大学院農学研究院准教授



小林 国之 (こばやしくにゆき) 氏

江別市生まれ。北海道大学大学院農学研究科を修了の後、助教を経て、2016年から現職。著書に『農協と加工資本ジャガイモをめぐる攻防』日本経済評論社、『ホクレン販売事業にみる経済連の組織機構と機能』『日中韓農協の脱グローバルイノベーション戦略』農文協、『総合農協のレーゾンデートル』筑波書房、『北海道から農協改革を問う』筑波書房などがある。

株式会社 at LOCAL 代表取締役



堀田 悠希 (ほった ゆき) 氏

中札内村生まれ。JA中札内村職員を経て結婚を機に就農。女性農業者のキャリアを活かせる活動の場を創ることを目的に、2014年十勝若手女性農業者ネットワーク「農と暮らしの委員会」を設立。マルシェや食育イベント、勉強会を開催。2017年道の駅ピア21しほろのリニューアルに合わせ、株式会社 at LOCALを設立。地域に根ざした食堂やカフェを運営。地場製品を使った加工品の商品開発を行う。

農村活性化シンポジウム 参加申込書

会社名及び部署名
参加者名 (参加者全員の役職・氏名を記載願います)
(代表者)

連絡先電話番号 (代表者)

■ FAX でのお申込み

本申込書に必要事項を記載の上、以下の番号へ送信してください。

FAX **011-736-5859**

■ Eメールでのお申込み

必要事項をメール本文に記載の上、以下のアドレスへ送信してください。

hkd-ky-nouson@mlit.go.jp

■ 申込期限

平成 **29年12月13日(水)**

■ お問い合わせ先

国土交通省北海道開発局
開発監理部開発調査課
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目
札幌第1合同庁舎14階北
TEL 011-709-2311 [内線 5444/5541]
(担当: 小林・山本)

※ ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの開催に伴う事務手続きに限り使用いたします。